

筑波大学理療科教員養成施設活動報告

施設長	吉川 恵士
助教授	宮本 俊和
講師	徳竹 忠司
	濱田 淳
技術専門職員	恒松 隆太郎
専門職員	神田 聖子
外来非常勤講師	小林 智子
	佐藤 卓弥
	菅原 正秋
	半田 美香子
	森戸 麻美
	山口 智
臨床専攻生	鏑木 慶子
	原 早苗
	半田 美德
理療研修生	礒野 秀樹
	伊藤 淳子
	岸 聡人
	北野 学
	小島 康義
	仲條 佐登美
	馬場 大輔
	坂野 裕子
	堀 雅史
	松尾 茜
	松丸 智明
	三田 和紀
	雪 貴裕
研究生	矢野 健太郎
	長谷川 香代

今年度は、以上 30 名のスタッフにより、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部における外来臨床を運営した。

1. 施設の概要

本施設は、あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の 3 種を有する者を入学資格とし、20 名の学生に 2 年間(88 単位)の教員養成教育を行い、卒業時に盲学校・視力障害センター・専修学校等の鍼灸マッサージ課程の教員免許を与える施設で、教育職員免許法にもとづき文部科学省が指定した教員養成機関である。また施設附属の「理療臨床部」を中心として、あん摩マッサージ指圧、鍼、灸、物理療法の基礎的・臨床的研究および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としてい

る。

施設スタッフは、教員 4 名、専門職員 2 名、事務員 3 名で学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学卒業であん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者あるいは本施設卒業者が入学できる。

理療研修生は、鍼灸に関する臨床指導を受ける者で、あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学できる。

2. 入学・就職状況

1) 施設学生入学

①盲学校専攻科卒業見込者を対象とした平成 16 年度推薦入学では、受験者 13 名(女性 2 名)、合格者 4 名(女性 1 名)であった。

②一般入学では、受験者 71 名(女 13 名)、合格者 19 名(女 2 名)であり、盲学校 13 名、専門学校 4 名、視障センター 3 名、短期大学 3 名であった。

2) 施設学生就職

本年度卒業予定者は 23 名、教員の求人数は 33 名であり、就職先の内訳は、盲学校 16 名(東北北海道 2 名、関東甲信越 4 名、近畿 5 名、中国 3 名、四国 1 名、九州沖縄 1 名)、視障センター 1 名、専門学校 3 名であった。

3) 臨床専攻生、理療研修生入学・就職

臨床専攻生入学は、受験者 2 名、合格者 2 名であり、理療研修生は、受験者 13 名、合格者 6 名であった。臨床専攻生 2 名・理療研修生 6 名は進級し、臨床専攻生 1 名、理療研修生 5 名は開業・就職した。

3. 業務

理療科教員養成施設の授業、外来活動以外に、学内、学外の以下の業務を行った。

1) 大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻で、「アスレティックリハビリテーション特講Ⅱ」、「アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ」、「アスレティックリハビリテーション実習Ⅱ」の授業を行った。

2) 人間学類で、「物理療法」、「物理療法特論」の授業を行った。

3) 医学専門学群 4 年生を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。

4) 文部科学省との共催で、現職教員の教育の一環として、盲学校理療科教員 109 名を対象に、4 日間「基礎実験実習の指導法」をテーマに筑波大学東京キャンパスにおいて講習会を開催した。

5) 社会人 43 名を対象として、公開講座「健康と東洋医学 家庭でできる手技療法」について講義と実習を行った。

4. 臨床活動

1) 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月～金曜日の午前 9 時～午後 5 時(水曜日は、9 時～12 時)であり、全スタッフを 2 グループ(月木班、火金班)で運営し、指導者 2～4 人に、学生・専攻生・研修生がついて臨床にあたっている。本年度の理療臨床部の患者数は、初診 337 名、年間延べ患者数は 6,813 名であった。

2) 共同研究

①筑波大学トレーニングクリニック:大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻の医学系教官、体育科学系教官との共同研究により、スポーツ外傷・障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼治療効果について検討している。

②筑波大学呼吸器内科:気道過敏性に対する鍼刺激の影響に関する研究を行っている。

③順天堂大学泌尿器科:慢性前立腺炎を中心に泌尿器科領域の鍼治療の研究を行っている。

④東京大学麻酔科痛みセンター:慢性疼痛患者に対する低周波鍼通電療法の有用性に関する研究を行っている。

6. 研究活動

◇著書

- 1) 森本昌宏編:ペインクリニックと東洋医学。(宮本俊和分担)筋・筋膜性疼痛。真興交易医書出版部,東京,2004

◇原著

- 1) 森戸麻美,菅原正秋,吉川恵士:鍼治療を受療する患者における健康関連 QOL 評価。日本温泉気候物理医学会雑誌,67(3):179-183,2004
- 2) 前原健司,村井宏光,汪徳慧,吉川恵士:理療科教員の臨床に関する実態及び意識調査,理療教育研究,26(1):14-20,2004
- 3) 菅原正秋,吉川恵士,有田英子,花岡一雄:慢性腰下肢痛に対する低周波鍼通電療法の効果,慢性疼痛,23(1):69-74,2004
- 4) 宮本俊和,原賢二,西村博志,矢野健太郎:サーモグラフィによるスポーツ外傷・障害の

評価,日本赤外線学会誌,14(1):39-43,2004

◇総説等

- 1) 菅原正秋,吉川恵士,林田真和,有田英子,花岡一雄:慢性疼痛の評価と治療,全日本鍼灸学会雑誌,54(2):120-136,2004
- 2) 山内俊雄,吉川恵士,岡田明三,福田文彦,山口智:座談会 鍼灸は不眠症をどこで治せるか,医道の日本,63(1):99-114,2004
- 3) 吉川恵士:不眠症に対する低周波鍼通電療法,特集:不眠症と鍼灸治療③,医道の日本,63(2):35-43,2004
- 4) 吉川恵士:視覚障害者職業学という領域の確立を目指して,点字ジャーナル,35(10):7-8,2004
- 5) 吉川恵士:家庭療法健康 24 時,電子と医学,9,448-45,2004
- 6) 菅原正秋,吉川恵士:緊張型頭痛に対する低周波鍼通電療法の実際,現代鍼灸学,4(1):99-104,2004
- 7) 吉川恵士:変形性膝関節症の診察と鍼治療,現代鍼灸学,4(1):43-45,2004
- 8) 半田美香子,恒松隆太郎,徳竹忠司,宮本俊和,中野秀樹:指サック使用が刺鍼時の痛みに及ぼす影響,全日本鍼灸学会雑誌,54(4):627-635,2004
- 9) 大前優子,宮本俊和,安達卯人,関勲:スポーツ障害に対する鍼治療.ペインクリニック,25(6):764-772,2004
- 10) 宮本俊和:私はこう思うディスプレイ鍼か従来鍼かーはりの安全性を中心に考えるー,医道の日本,63(2):133-135,2004
- 11) 山下仁,形井秀一,石崎直人,榎田高士,宮本俊和,江川雅人:鍼灸安全性に関する既存のエビデンス(1),全日本鍼灸学会雑誌,54(5):728-743,2004

◇学会発表

- 1) 市田敬一,葉華,小倉裕二,松村浩樹,吉川恵士,徳竹忠司:末梢循環からみた全身あん摩と局所按摩の比較ー皮膚温および深部温を指標としてー,第 15 回日本手技療法学会学術大会,熱海,2004.3
- 2) 和田恒彦,臼田幸世,福島正也,徳竹忠司,吉川恵士,宮本俊和:足底部への押圧刺激は腰部の皮膚温を上昇させるか?ー足底部刺激と腰部刺激による腰部皮膚温の比較ー,第 15 回日本手技療法学会学術大会,熱海,2004.3
- 3) Yoshikawa. K: New Massage and Mobilization Techniques on the Sholder Kinesialgia The

7th WBU Asia Pacific Regional Seminar on Massage Hong Kong China, 2004.5

- 4) 森戸麻美, 菅原正秋, 吉川恵士: 理学療法と鍼灸受療患者におけるQOLの比較-SF36を用いて-, 第69回日本温泉気候物理医学会総会, 2004.5
- 5) 菅原正秋, 森戸麻美, 吉川恵士: 肩胛間部における刺鍼および低周波鍼通電の安全性の検討-とくに菱形筋パルスの方法について-全日本鍼灸学会, 千葉, 2004.6
- 6) 吉川恵士: 本科保健医療科の現状と将来, 全国盲学校教育研究大会理療分科会シンポジウム, 2004
- 7) 佐藤卓也, 濱田淳: 内閉鎖筋に対する低周波鍼通電刺激と慢性前立腺炎への効果-NIH-CPSIによる評価-. 第53回全日本鍼灸学会学術大会, 千葉, 2004.6
- 8) 宮本俊和: 安全性委員会ワークショップ, 第53回全日本鍼灸学会学術大会, 千葉, 2004.6
- 9) 宮本俊和: スポーツ鍼灸の今後を考える, 第53回全日本鍼灸学会学術大会, 千葉, 2004.6
- 10) 半田美香子, 宮本俊和: 指サック使用が刺鍼操作, 触診操作に与える影響, 第53回全日本鍼灸学会学術大会, 千葉, 2004.6
- 11) 矢野健太郎, 宮本俊和: 中高年登山における運動器系愁訴と鍼に関する調査, 第53回全日本鍼灸学会学術大会, 千葉, 2004.6
- 12) 宮本俊和: スポーツ鍼灸マッサージの実際, 日本東洋医学系物理療法学会, 京都, 2004.10
- 13) 大岡茂, 宮川俊平, 宮本俊和: 筋損傷に対する低周波鍼通電刺激が修復過程に与える影響, 第59回日本体力医学会大会, 埼玉, 2004.9
- 14) 矢野健太郎, 宮本俊和: ウォーキングラリー参加者における運動器系愁訴とその対処に関する調査, 第59回日本体力医学会大会, 埼玉, 2004.9
- 15) 矢野健太郎, 森川敬忠, 宮本俊和, 目崎登: 膝関節痛に対する簡易装着型テーピング効果, 第15回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 大阪, 2004.10

◇講演・講義

- 1) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の基礎と臨床福岡県立福岡高等盲学校研修科, 特別講義
- 2) 吉川恵士: 腰痛症の診察と鍼灸マッサージ療法の実際, 山梨県立盲学校, 特別講義
- 3) 吉川恵士: 五十肩の診察と手技療法, 山梨県立盲学校, 特別講義
- 4) 吉川恵士: 五十肩の鍼灸マッサージ療法の実際, 千葉県鍼灸マッサージ師会, 平成16年度

学術講演会

- 5) 吉川恵士: 頸腕症候群に対する筋ストレッチング・鍼灸治療の実際, 東京都鍼灸マッサージ師会城北ブロック学術講演会
- 6) 吉川恵士: 頸腕症候群に対する筋ストレッチング・鍼灸治療の実際, 東京都鍼灸マッサージ師会城南ブロック学術講演会
- 7) 吉川恵士: 障害基礎学-視覚障害者の職業-, 淑徳大学大学院特別講義
- 8) 宮本俊和: 肉離れ, スポーツ鍼灸神奈川, 2月, 溝の口
- 9) 4 宮本俊和: 寒冷負荷によるスポーツ外傷・障害に対するサーモグラフィの評価, 赤外線放射応用関連学会, 2月, 東京
- 10) 宮本俊和: 下肢のスポーツ障害の鍼灸治療, スポーツ新潟, 3月, 新潟
- 11) 宮本俊和: 軟式野球・ゴルフと鍼灸, 埼玉盲理療研究会, 3月, 川越
- 12) 宮本俊和: スポーツ鍼灸セッション, 全日本鍼灸学会, 6月, 千葉
- 13) 宮本俊和: 臨床熱画像検査法講習会, 日本サーモロジー学会, 6月, 米子
- 14) 宮本俊和: スポーツ障害のメカニズムと診方, スポーツ鍼灸神奈川, 6月, 伊勢原
- 15) 宮本俊和: 肩・膝のスポーツ障害の鍼灸マッサージ, 宮崎盲学校, 8月, 宮崎
- 16) 宮本俊和: 腰部及び膝関節の疾患の鍼灸治療, 青森県鍼灸マッサージ会, 9月, 青森
- 17) 宮本俊和: スポーツ分野における鍼灸治療, トライデントスポーツ健康科学専門学校, 10月, 名古屋
- 18) 宮本俊和: 肩関節のスポーツ外傷・障害, 大分県鍼灸マッサージ師会, 11月, 大分
- 19) 宮本俊和: スポーツ選手の腰痛に対する鍼灸治療, トライデントスポーツ健康科学専門学校, 11月, 名古屋